

～安全パトロールを実施しています～

山形河川国道事務所事故防止対策委員会（置賜地区）では、請負工事の施工に伴う事故の発生を未然に防止し、工事の円滑な進捗を図ることを目的に、年に3回の安全パトロール等を実施して労働災害防止に努めています。

今年度は、7/8、9/24、12/10にパトロールが行われ、発注者及び企業合わせて延べ226人が参加しました。2回目からは初めて抜き打ちパトロールを行っています。現場点検の後、検討会を行い、後日、現場代理人から改善報告書を提出してもらいます。良い点は取り入れ、悪い点は改善する。他の現場を見ることで、より良い安全対策を行う事が出来るようになればと思います。

冬場は夏の倍、事故が発生するそうです。雪の中の作業は、非常に危険を伴います。再度、現場及び現場事務所の安全管理の見直しと、KY（危険予知）活動により個々人の意識の向上を図っていききたいと思います。



第3回では、施工上の創意工夫について
体験発表があります↓



←点検表に各自チェックしていきます
↓現場でもエコ活動に取り組んでいます



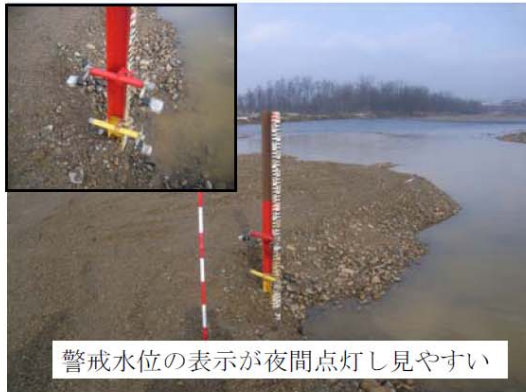
とっさの時の連絡先を
掲示しておくとう便利！



置賜地区第3回安全パトロール便り

2009. 1. 9 事務局

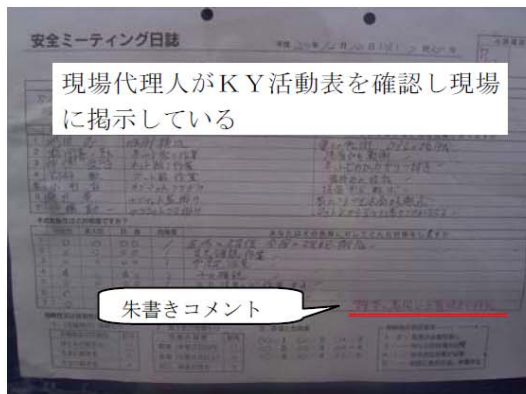
明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。
昨年12月のパトロール結果についてまとめましたので、参考にして下さい。
＜良い事例＞



警戒水位の表示が夜間点灯し見やすい



ワイヤー点検例が実写版でわかりやすい



現場代理人がKY活動表を確認し現場に掲示している

朱書きコメント



FEP管が風で飛ばないように杭で押さえてある

- ・エコ活動に取り組んでいる。
- ・緊急時連絡表が掲示されている。
- ・油のポリタンクは現場に置かないで、その都度持参している。

＜悪い事例＞

- ・ガス、酸素などボンベの設置が不安定。
- ・灰皿がカーペットにじか置きで火災の危険。
- ・公道と現場入口の間にゲートがない。
- ・車両通路と作業員通路の区別がない。

＜講評＞

- ・事故対策として、元請けが下請けをカバーして欲しい。整理整頓・見えないところも安全管理をしっかりと行い、法律・基準を遵守すること。道路管理第二課長
- ・寒くなると事故が多くなるので注意。現場の“気づき力”を高めて、良い例は取り入れ悪い例は排除する。KY活動を形骸化しないで欲しい。工物品質管理官

* “気づき力”を高めるためには、他の現場を点検し、自分の現場に反映させるということが非常に有効ではないかと思われます。ポリタンクはどこに置いてありますか？分電盤に鍵は掛けていますか？そして、作業員とのコミュニケーションは取れていますか？

雪中の作業は非常に過酷で危険です。無事故・無災害で工事が完成するよう、もう一度、現場を確認してみてください。安全第一。よろしくお願ひ致します。

